

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 7年 1月 16日

岡山市長 大 森 雅 夫 様



フリガナ チイキシウセイカモメプロジェクト
 団体名 地域創生カモメProject
 所在地 XXXXXXXXXX
 連絡先 XXXXXXXXXX
 フリガナ XXXXXXXXXX
 代表者 XXXXXXXXXX

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 ☐ イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ オ その他
事業名称	地域創生カモメProject
事業実施小学校区・地区	小串小学校区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 4回目 / 【令和4年度から】
課題	・ 地域の少子高齢化が著しく各町内で行われていた行事もなくなり住人の関わりが少なくなっている。 ・ 交通の便が悪く、日常生活に必要な生活支援サービス(交通・医療・娯楽)を受けられない住人が多い。 ・ 住人間の繋がりが薄くなっており、空き家なのか外出中(入院中)なのかの把握が困難になっている。 ・ 他地域との繋がる道が限られており、災害時に避難経路が断たれ、長期間孤立する恐れがある。 ・ 小串小学校の児童が減り、廃校が時間の問題となっている。
事業の目的	・ 地域を活性化するためには、住民間の繋がりを強めると共に地域外の人々にも小串学区の良さを知ってもらい、住みたいと思ってもらえるような地域にすることが必要である。 ・ 地域の人に色々な活動に参加してもらうことで高齢者には活力を見出してもらい、地域が一体となることで小串地域がかかえる課題に向き合っていきたい。 ・ 災害時にすべての住民を守り、孤立した場合にも生き抜いていけるようにしたい。 ・ 危険な空き家を撤去することで、災害が発生することを防ぐ。また新たな活用法を地域全体で見出して行ける地域を作りたい。

事業の内容	○カモメ朝市（4月・11月） ・空き家対策として解体した民家跡地の広場を利用し、朝市を開催する。 ・出店店舗は、地元農家、地元漁師、岡山県内の飲食店等 ○カモメ夜市（7月） ・地域の神社「廣幡八幡宮」で行われる「輪くぐり」に合わせ夜店を出し、地域内外の住民に楽しんでもらうと共に昔の夏祭りを地域年配者に感じてもらう。 ○防災訓練 ・町内会とタイアップし地域の防災訓練の企画、準備を行う。 ・消防局等の出張防災教育を計画する。 ○空き家対策 ・地域内の空き家の把握と共に、地図や表などの町内会が活用出来る資料を作成する。 ・空き家を再利用する為に外部に情報を開示し移住者や店舗としての利用者を募る。 ○年配者支援 ・買い物支援として、パン、豆腐以外にも食料の調達出来るシステム創りを検討し、実現に向け動く。 ・デマンド型交通の構築に向け主体的に動く。
期待される成果・目標	○カモメProject ・地域住民及び地域出身者の若手、また地域に拠点を置く企業との繋がりを作ることで地域に活力を見出す。 ・町内会（小串、阿津、向小串、米崎、相引）の垣根を超えた活動を行い地域の一体化を図る。 ・対外的なPR活動を担う事で小串学区の存在を知らない他地域の人を小串に呼び込む。 ・各活動（カモメ朝市、カモメ夜市、防災訓練、空き家対策、年配者支援）を総合的に管理、動員の確保、PRを行い、将来的に光南台学区規模の活動を目指す。

	○カモメ朝市 ・朝市の開催を継続する事で地域の定例的な催事として意識付けを行い、地域住民に朝市に向けての準備、運営、出店、来場を楽しみに待ってもらえる様な朝市となり、年配者のコミュニケーション増加につなげ、活力の増加を目指す。 ・地域外の来場者に小串学区の良さを知ってもらう。 ○カモメ夜市 ・約30年前まであった夜店を復活させ地域の年配者に新たな楽しみを創造すると共に子供や孫を呼べるようなお祭りを復活させたい。 ○防災訓練 ・住民への災害に対する不安の軽減と、災害時にどう行動するかの意識付け。 ・他地域や行政に向けて小串学区の災害に対する意識の高さをアピールすると共に、小串学区を知ってもらう。 ○空き家対策 ・地域内の空き家数の正確な把握と空き家の再利用促進に向け活動を行う。 ・空き家マップの作製を町内会とタイアップして実施する。 ・空き家の所有者を明確にし、解体やリノベーションに伴う補助金の活用を促し、空き家の新たな利用法を提案する。 ・空き家を活用しての新たな使い道を検討し、他地域からの利用希望者を募る。 ○年配者支援 ・買い物支援を充実させ、最低限の衣食住を確保出来るような活動を目指す。 ・デマンド型交通の誘致に向け勉強会の開催、協力者の確保等を主体的に動く。
企 画 な ど の 工 夫	○カモメ朝市 ・出店店舗の誘致に関し、地元の野菜や魚介類だけでなく知名度のある飲食店や企業に出店してもらう事で、地域外からの集客を狙う。 ・町内放送や町内の回覧板を活用し、地域内にカモメ朝市の存在を周知する。 ・各町内を1件ずつ回り、朝市の開催を告知すると共に年配者からの要望をヒアリングする。 ・朝市に使用するテントや机、椅子は各町内会（小串・阿津・向小串・米崎・相引）から借用する。 ・地域に関係のある企業等から協賛金を頂き、備品購入の費用を賄う。 ○カモメ夜市 ・町内住民の意見を取り入れ、過去の夏祭りを復活させる。 ・子供も楽しめるお祭りを目指す。 ・町内放送や町内の回覧板を活用し、地域内にカモメ夜市の存在を周知する。 ○防災訓練 ・前日及び当日の準備は地元住民と協力して行う。 ・町内住民による受付や町内の女性会による来場者への飲み物提供など、地域一丸となって実施する。 ○空き家対策 ・町内会の年配者が不得意とする書類作成を行う事で地域住民が主体となるよう活動する。 ・有事において町内会が独立してスムーズに動ける様なシステム創りとする。 ○年配者支援 ・住民の意見を反映した活動が出来るような仕組みを作る。（アンケート等） ・各町内会との意見交換の場を作る。

協働する団体等	・小串町内会（地域活動協力） ・阿津町内会（地域活動協力） ・向小串町内会（地域活動協力） ・米崎町内会（地域活動協力） ・相引町内会（地域活動協力） ・小串連合女性会（地域活動協力） ・自衛隊（防災訓練協力） ・岡山市消防団（防災訓練協力） ・岡山市消防団小串分団（防災訓練協力） ・岡山ひだまりの里病院（認知症等勉強会、人員協力） ・岡山トヨタ自動車（株）（人員、車両協力） ・児島興業（有）（人員協力） ・（株）光南溶工（人員協力） ・米粉パン専門店大元工房（買い物支援【パン】）
事業の情報公開	・SNSでの告知 ・新聞での告知 ・テレビ等の報道による告知 ・情報誌による告知 ・行政が発信する活動紹介での告知 ・各事業の案内を町内の掲示板や協力店舗へ掲示してもらっての告知 ・各関係者からの横の繋がりでの告知
学区地区への広がり	・カモメ朝市及びカモメ夜市、防災訓練を対外的に行う事により、他地域へのPRを行う。 ・カモメ Project として、小串学区の在住者や出身者及び光南台学区の関係者をメンバーとして加入し、今まで以上に広く地元根付いた活動を目指したい。 ・行政との連携を強め、本活動の有意性をPR、及び地域に対して目に見える実績を作ることが今後の理解者、協力者を増やすために必要だと考える。
前年度からの見直し拡充点	・地元の夏祭りに活気を取り戻す為、夜市と題して露店を誘致する。 ・今後も小さな改善を繰り返し行っていき、地元の住民や地域外から訪れた方々に小串学区を好きになってもらえるよう活動を継続していく。

次年度以降の予定	① 次年度以後の活動計画 ・カモメ朝市（4月・11月） ・カモメ夜市（7月） ・防災訓練（1回／年） ・空き家対策（随時） ・年配者支援（随時） ② 資金の確保について ☐次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	私たちカモメ Project は非営利で事業を展開しています。 地元住民と地元出身者、地域外の理解者が一致団結して小串学区に活力を取り戻してもらおうべく活動をしています。 小串学区に対する行政の支援が完全ではない現状を踏まえ、今後小串学区が生き残るためには、今回の活動を継続する事が不可欠と考えます。 今後多くの人を巻き込み今以上に大きなプロジェクトにして行きたいと考えております。 将来的に光南台学区全体の活性化を視野に入れ活動を続けて行く所存です。

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
4月	企画会議 第8回カモメ朝市 開催 空き家対策・年配者支援対策 活動
5月	企画会議 第8回カモメ朝市 反省会 空き家対策・年配者支援対策 活動
6月	企画会議 空き家対策・年配者支援対策 活動
7月	企画会議 第3回カモメ夜市 開催 空き家対策・年配者支援対策 活動
8月	企画会議 第3回カモメ夜市 反省会 空き家対策・年配者支援対策 活動
9月	企画会議 空き家対策・年配者支援対策 活動
10月	企画会議 地域防災訓練 開催 空き家対策・年配者支援対策 活動
11月	企画会議 地域防災訓練 反省会 第9回カモメ朝市 開催 空き家対策・年配者支援対策 活動
12月	企画会議 第9回カモメ朝市 反省会 空き家対策・年配者支援対策 活動
1月	企画会議 空き家対策・年配者支援対策 活動
2月	企画会議 空き家対策・年配者支援対策 活動
3月	企画会議 空き家対策・年配者支援対策 活動

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	900,000	900,000	
実施団体負担金	0	0	
参加者負担金	0	0	
協賛金	700,000	700,000	関係企業からの協賛金
寄附金、他収入	200,000	200,000	各店舗売上の1割を出店料として徴収(朝市・夜市)
収入合計	1,800,000	1,800,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	300,000	300,000	事務用品・机・区画用備品
②食糧費	205,000	205,000	会議に係る飲料代、事業実施当日の飲食代等
③印刷製本費	200,000	200,000	資料等の印刷等
④燃料費	10,000	10,000	会議会場の灯油代、準備に係る車両の燃料代
⑤光熱水費	10,000	10,000	会議会場、事業会場の電気代、水道代
⑥通信運搬費	60,000	60,000	事業専用電話の使用料
⑦広告料	—	—	
⑧手数料	5,000	5,000	銀行振込手数料等
⑨使用料・賃借料	600,000	600,000	テント等リース費
⑩原材料費	—	—	
⑪委託料	350,000	350,000	会場、駐車場等警備員委託
⑫工事請負費	—	—	
⑬報償費	—	—	
⑭保険料	60,000	60,000	イベント保険料
⑮旅費	—	—	
支出合計	1,800,000	1,800,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	☒ 希望する ・ ☐ 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

各活動の実施に向け、事前に準備をする資金が必要なため

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。